

# 平成30年度 第34回 全道シニア50サッカー大会 兼 JFA 第18回 全日本O-50サッカー大会 北海道予選

## 【 開 催 要 項 】

- 1 主 旨 こよなく愛するサッカー競技を通じ、北海道のシニア年代の活性化に努め、北海道サッカーの発展に寄与すると共に、生涯スポーツの振興に資することを目的とする。
- 2 名 称 平成30年度 第34回 全道シニア50サッカー大会  
兼 JFA 第18回 全日本O-50サッカー大会 北海道予選
- 3 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会 北海道シニアサッカー連盟
- 4 主 管 釧路地区サッカー協会
- 5 後 援 (公財) 北海道体育協会、釧路市教育委員会
- 6 期 日 平成30年10月6日(土)・7日(日)・8日(月・祝)
- 7 会 場 釧路市市民陸上競技場及び付属競技場
- 8 参加資格 (1) 1969年(昭和44年4月1日)までに生まれた選手であること。そして本年度(公財)日本サッカー協会のシニア種登録選手により、構成されたチームとする。  
(2) 本年度、北海道シニアサッカー連盟に加盟しているチームとする。
- 9 参加チーム数 (1) 北海道シニアサッカー連盟が定めた出場枠(前年度当該シニア種登録チーム数による比例配分)を基準に、各地区より選出された13チームと開催地枠1チーム、そしてHKFAシニア委員会とシニア連盟で承認された普及枠2チームの計16チームとする。  
(2) 参加チームについては、前年度のシニア種登録チームを対象とする。  
(3) 各ブロックの出場チームについては、平成30年8月8日(水)迄に決定のこと。決定後の辞退は原則として認められない。  
・札幌・道央ブロック 6枠・・・札幌・小樽・千歳・空知・北空知地区  
・道南ブロック 2枠・・・函館・室蘭・苫小牧地区  
・道北ブロック 2枠・・・旭川・道北・宗谷地区  
・道東ブロック 3枠・・・十勝・釧路・網走・根室地区  
・普及枠 2枠・・・道南ブロック・道央ブロック  
・開催地 1枠・・・釧路地区
- 10 競技規則 (1) 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。  
(2) 各試合の登録選手は25名とする。競技開始前に登録選手の氏名を主審に提出。その全員が主審の許可を得て、試合中再交代することができる。  
(3) チームは同じブロック内の出場できないチームから3名補強できる。ただし、北海道シニアサッカー連盟に加盟するチームのシニア種登録選手とする。  
(4) 負傷した競技者を確かめる為に入場を許される人員の数は2名までとする。  
(5) ボールは軽量5号球(400g)を使用し、空気圧はメーカー指定とする。
- 11 懲 罰 (1) この大会は全国大会の予選会を兼ねるので、懲罰規程上同一競技会とみなし本予選会終了時点での退場・退席による未消化の出場停止処分は、本大会によって順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。  
(2) 本大会は本協会の「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。  
(3) 大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。  
(4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。  
(5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(6) 棄権試合、不正等が発見・確認された場合は0対5とし、その後の処置については、大会規律委員会で決定する。また、本開催要項に記載事項のない懲罰に関する事項も、大会規律委員会で決定する。

- 12 競技方法
- (1) 16チームを4グループに分けて予選リーグ戦を行い、1位の4チームが決勝トーナメントに進出し順位を決定する。但し、状況により変更する場合がある。
  - (2) 1stラウンドは、勝ち3点、引分け1点、負け0点により、勝ち点の多い順に順位を決定する。なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
    - I 全試合の得失点差（総得点－総失点）
    - II 全試合の総得点
    - III 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
    - IV コイントス
  - (3) 試合時間は50分（25分ハーフ休憩は5分間）とする。但し、決勝トーナメントは40分（20分ハーフ休憩は5分間）
  - (4) 決勝トーナメントで勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式により次戦に進出するチームを決定する。但し、決勝戦で勝敗が決しない場合は10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、決しない場合はペナルティーキック方式により勝敗を決定する。なお、全国大会出場枠が2チームの年度は準決勝で延長戦を行い決勝戦では行なわない。
- 13 参加申込み  
参加料
- (1) 参加申込書の登録選手数は25名までとする。登録選手以外の出場は認めない。
  - (2) 申込締切日 平成30年9月5日（水）17時必着
  - (3) 大会参加料 25,000円（税込み）・・・下記④の指定口座まで納入。
  - (4) 参加するチームは申込用紙により、必ず所属する地区サッカー協会へEメールにて送付する事。
  - (5) 申込を受けた各地区サッカー協会は期日までに下記①②③まで申込手続きを行う。

<p>① 〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41 北海道フットボールセンター （公財）北海道サッカー協会 TEL：011-825-1100 FAX：011-825-1101 ●参加申込書 ●プライバシーポリシー同意書</p>
<p>② 釧路地区サッカー協会 〒085-0003 釧路市川北町7-17 宮谷 道春 気付 Eメール：kushiro-fa-m@vesta.ocn.ne.jp TEL：0154-25-7228 FAX：0154-25-7228 ○参加申込書 1部</p>
<p>③ 北海道シニアサッカー連盟 事務局長 伊東 美智子 Eメール：smrs-ito@taupe.plala.or.jp TEL：090-3778-4706 FAX：011-778-9761 ○参加申込書 1部</p>
<p>④ 大会参加料振込先 北海道銀行 鳥取支店 口座番号（普通） 0541835 口座名 釧路地区サッカー協会 会長 佐藤 茂</p>

- 14 組合せ
- (1) （公財）北海道サッカー協会において厳正なる抽選を行う。
  - (2) 組合せ結果は（公財）北海道サッカー協会HP「大会情報→シニア」で確認する事。  
<http://www.hfa-dream.or.jp/>
  - (3) 前年度の優勝及び準優勝チームが出場した場合はブロックシードする。
  - (4) 同じ地区より、2チーム以上出場しているチームはブロック分けとする。

- 15 帯同審判員 (1) 参加チームはJFA公認サッカー審判員（3級以上）1名の帯同を義務付ける。審判員の氏名・資格・連絡先を参加申込書に記入。大会当日は審判証を提示する事。  
(2) 帯同審判員は要請を受けた大会期間中の審判業務に当るものとする。  
(3) 帯同審判員は選手・監督を兼ねることができるが、全てにおいて、審判業務を優先すること。審判不帯同については基本的に認めない。
- 16 選手登録変更 (1) 選手の登録変更は大会の15日前、平成30年9月21日（金）17時までに所定の変更届けで、地区協会を通してEメールにて13.①②③に届けること。それ以降の選手登録変更及び背番号の変更は原則として認めない。  
(2) （公財）北海道サッカー協会への追加登録は大会の15日前、平成30年9月21日（金）17時までに当協会に登録を完了した選手とする。
- 17 ユニフォーム (1) フィールドプレーヤー・ゴールキーパーは色彩が異なり、判別しやすい正・副のユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）を参加申込書に記載。正・副ともに携行すること。  
(2) （公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を厳守すること。（ユニホーム規程はHKFAホームページに掲載）
- 18 監督会議 当日、監督が欠席の場合には、必ず代理をたてなければならない。  
期 日：平成30年10月6日（土）10時より  
会 場：釧路市民陸上競技場会議室（各チーム1名限定）
- 19 開 会 式 監督会議の終了後に行う。
- 20 閉 会 式 期 日：平成30年10月8日（月・祝）決勝戦終了後に行う。  
会 場：決勝戦会場
- 21 表 彰 優勝チームには優勝カップと賞状。準優勝チームには賞状を授与する。
- 22 負傷及び事故の責任 大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行うこと。
- 23 そ の 他 (1) 登録選手は（公財）日本サッカー協会発行の選手証を監督会議に持参すること。但し、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。 ※選手証とはWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはパソコンやスマートフォンの画面に表示したものを示す。選手証が確認できない場合は試合に出場できない。  
(2) 本大会要項に規定のない事項が発生した場合には、北海道シニアサッカー連盟において協議の上決定する。  
(3) 参加選手は自己責任のもと健康状態には特に注意し、事前に医師の診断を受け、試合出場に支障のないことを確認のうえ、出場すること。  
(4) 大会参加にあたって、各チームは大会参加前にスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。  
(5) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は当運営委員会において協議のうえ対処する。中断・中止・延期することがあることを留意すること。  
(6) 眼鏡：プラスチックまたは、類似の素材でできた最近のスポーツメガネ以外は認めない。さらにフレームレス及び脱落する可能性があるためと審判が判断した眼鏡は認めない。  
(7) 宿泊の斡旋は行わない。弁当等の斡旋については主管地区協会より別途案内する。  
(8) JFA 第18回全日本0-50サッカー大会北海道代表について  
本大会の優勝チームをJFA 第18回 全日本0-50サッカー大会の北海道代表とする。  
(9) 平成30年度 第7回ライフスポーツサッカー大会の北海道代表について  
北海道シニアサッカー連盟が推薦するチームを北海道代表とする。